



## 「思いを馳せる」

校長 塩津 一弘

令和6年を新たな気持ちで迎える中、能登半島大地震では、ご家族や大切な方を亡くされたり、被害に遭われた方々がいらっしゃいます。心よりお悔やみ、お見舞い申し上げます。

さて、3学期の始業式では、能登半島大地震を踏まえて、私自身の体験を話すことでした。

一つ目は、奄美豪雨災害(2010年10月20日)で避難した立場からです。記録的な大雨による川の氾濫、土砂崩れ等で道路が遮断され、学校から出られず隣の小学校の体育館に避難せざるを得なかったこと。その避難生活の大変さと復興に向けた多くの方々の支援のありがたさ等について触れてみました。

二つ目は、熊本大地震(2016年4月14日)後に、当時大学生の長男と実際にボランティアに参加したことです。ほんのわずかな時間の片付け作業でしたが、被害に遭われた高齢者の方にとっても喜んでもらったことは、今でも忘れることはできない経験です。

そして、生徒へは、実際に経験をしたことがなくとも、他人事とは考えず、自分の身の回りで、同じようなことがあったらどうすればいいのか、私たちのできることはないのか、相手の気持ちに寄り添って、そして行動に移せる人になってほしいと思いを伝えることでした。

石川県では中学生の集団避難も行われています。私たちは今、当たり前のように日常生活、学校生活を送れている状況に感謝し、この縁起の良い龍年を、昇り龍が如く素晴らしい年にしましょう。

保護者、地域のみなさん、今年も引き続きよろしくお願ひいたします。



### 生徒会新スローガン紹介

3学期始業式に生徒会から新しいスローガン「凜煌加中」が発表されました。サブタイトルは、「～凜とした雰囲気て一人一人が煌めく最高の学校へ～」になっています。「清才加中」から受け継いだ加治木中の良さを、44年目の加治木中の活動をとおして、一人ひとりの姿で具現化してくれることと思います。保護者、地域の皆様の応援をお願いいたします。次の文は、小田原生徒会長の思いです。



### 能登半島地震支援募金活動

能登半島地震の被災者救済を目的とし、生徒会が呼びかけて、募金活動を実施しています。期間は1月22日(月)から2月2日(金)までです。自分たちにできることを積極的に取り組もうとしていることが嬉しく思います。

「凜煌加中(りんこうかちゅう)」1月9日の始業式、響き渡るそのことばは、今年一年間、生徒全員でめざす目的地だ。

私が通う加治木中学校では、生徒会を中心に毎年二文字の漢字でスローガンをつくる良き伝統がある。このスローガンは、加中三大行事(合唱コンクール・体育祭・文化祭)や学校生活においての目標になっている。

私は、11月に生徒会長になり、一番最初の大仕事が新スローガン決めだった。全校生徒にアンケートをとり、生徒会役員で話し合いを重ねた。「これがいい。」「いや、これの方がいい。」など、活発な意見交換の末、けじめと凛々しさ、たくましさ求めて、「凜煌加中」に満場一致で決定することができ、仲間と一緒に喜び合った。

これからこのスローガンのもと、凜とした雰囲気て、一人一人が煌めく最高の加治木中学校をめざし、生徒全員で「凜煌加中」という目的地に向かって、今、走り出す。

## 音楽教室（合唱指導）

1月18日（木）、松井 孝夫先生（聖徳大学院教授）を講師としてお招きし、1、2年生で実施しました。1年3組と4組の生徒が実際に合唱を披露した後、松井先生からの指導をうけながら練習をしていくたびに合唱が良くなっていきました。全体指導では、作者自身の曲への思いや表現の仕方等を学ぶことができました。

指導を素直に受け入れる生徒達を嬉しく思うとともに、今後の生活に生かしてくれることを期待します。以下は生徒の感想になります。

- 歌詞の意味を考えながら歌うことの大切さを感じた。また、松井先生が楽曲に込めた思いを知ったことで、それを考えながら歌えた。考えながら歌うと、自然と歌に気持ちがのって歌いやすくなった。
- 歌詞にたくさんの温かい思いが詰まっていることを作曲者に直接お話を聞くことができた。全身を使って歌うと、声が大きくなって、リズムにのることができて楽しかった。
- 今日の合唱練習は今までで一番声を出せて、とても楽しい合唱になりました。歌詞の意味や強弱などに気を付けて歌うと、曲に対しての感情が深くなり、いつにも増してきれいな合唱になりました。



## 職員研修

冬季休業中の1月5日（金）に、人権に関する研修とタブレットの更なる有効活用についての職員研修を実施しました。研修で学んだことを、3学期に生徒に還元できるように職員一同取り組んでいきたいと思ひます。



## 鹿児島学習定着度調査

1月16日（火）～17日（水）の2日間で1、2年生を対象に鹿児島学習定着度調査を行いました。この調査は、基礎・基本が定着しているかを確認する調査になります。最後まで真剣に取り組む姿がみられ、嬉しく思いました。結果が楽しみです。



## 学校賞受賞

第33回椋鳩十全国読書感想文コンクールにおいて、昨年度に続き学校賞を受賞することができました。

学年別の部では、山口 智輝（3年）さんと小牧 禮仁（2年）さんの2名が特選を受賞した他、4名の生徒が入選しました。

また、家庭、地域及び関係機関と連携し、安心・安全な学校づくりへの取組等が認められ、令和5年度の県学校安全優良校を受賞しました。今後も更に安全な学校づくりに尽力していきたいと思ひます。

## 2月行事



- 2日（金）公立高校推薦入試  
第8回家庭教育学級（情報モラル教室）
- 3日（土）始良市心を育む食育講演会（本校実践発表）  
13：30～ 始良公民館
- 6日（火）PTA理事会（19：00～ 第2美術室）
- 8日（木）登下校安全集会、テスト前部活動停止（～13日）
- 9日（金）3年PTA、漢字検定
- 10日（土）土曜授業
- 11日（日）建国記念の日（祝日）
- 12日（月）振替休日
- 13日（火）学年末テスト（～14日）
- 15日（木）小中合同研修会
- 22日（木）1・2年授業参観、PTA、学校保健委員会  
第3回始良市生活指導研究協議会
- 23日（金）天皇誕生日（祝日）
- 25日（日）始良市生涯学習フェア講演会（始良公民館）
- 27日（火）2年職場体験学習（～29日）
- 28日（水）第3回合同生徒指導部会

